

まちの話題



秋の声かけ運動 一斉キャンペーン

9月6日に、秋の声かけ運動一斉キャンペーンが行われ、多くの方が通学路で「おはよう」「いってらっしゃい」と声を掛けました。
この活動は毎月5日に行われており、今回は地域の方々をはじめ、関市長やリンゴレジャーなどが登校の様子を見守りました。



「花輪祭の屋台行事」と「毛馬内の盆踊」へ祭事助成金

8月27日に、明治安田生命保険相互会社秋田支社の知見支社長らが鹿角市役所を訪れ、同社と市が今年2月に締結した包括連携協定に基づき「花輪祭の屋台行事」と「毛馬内の盆踊」の継承活動に対して、助成金を贈呈しました。

これを受けて、花輪ばやし祭典委員会の阿部会長は「祭典の安全で円滑な運営に努め、地域活性化に貢献していきたい」、毛馬内盆踊保存会の馬淵会長は「地元の後継者を育てるため、助成金でしの笛をそろえて、子どもたちに使わせたい」と感謝を伝えました。



大湯ストーンサークル館 入館者50万人達成

9月9日に、大湯ストーンサークル館の入館者数が50万人を達成し、記念セレモニーが行われ、50万人目の入館者に関市長から記念品が贈呈されました。

その節目の入館者となったのは、大学生の杉原さんで、この日は、友人2人と登山に向かう途中に、「世界遺産」の看板を偶然見つけて立ち寄ったのだそうです。

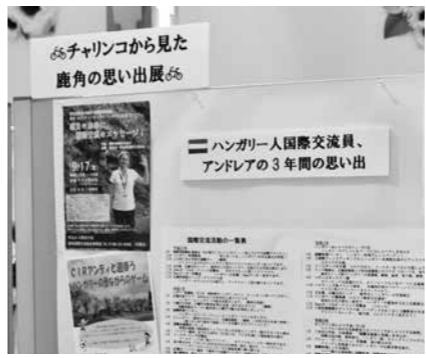
杉原さんは「50万人と聞き、それだけ多くの人がここを訪れているということに驚きました。世界遺産ということもあり、これからもっと注目を集めると思います」と話しました。



市国際交流員企画イベント「チャリンコから見た鹿角」

9月2日から17日まで、文化の杜交流館コモッセで、「チャリンコから見た鹿角の思い出展」が開催されました。これは、市国際交流員のダンコー・アンドレアさんが、本市にきた平成30年9月から今年9月までの3年間で撮影し続けた、鹿角の日常や風景などの写真を展示したものです。

アンドレアさんは、「たくさんさんの思い出を写真にして9月末にハンガリーへ帰ります。皆さんと交流できてうれしかったです。お世話になりました」と鹿角への思いを記しました。



鹿角工業振興会から ドローンを受納

9月10日に、鹿角工業振興会の関係者らが関市長を訪れ、ドローン3台のほか、バッテリーなどを寄贈しました。

柳澤会長は「子どもたちには、ドローンを通して色々な経験をしてほしい。そしてプログラミングを身近に感じてもらう、モノづくりに興味を持ってほしい」と話しました。これを受けて、関市長は高い技術力を持つ本市の製造業について、もっと子どもたちに知ってもらえるよう努めたい」と話しました。



J A かつの 北限の桃生産部会 市長表敬訪問

9月2日に、J A かつの北限の桃生産部会の中村部会長らが関市長を訪れ、今年の北限の桃の出来栄えを報告しました。

中村部会長は「小ぶりになるかと思っていたが、最近の雨のおかげで例年並みに成長した。糖度も夏の猛暑のおかげで申し分ないものができた」と喜びを伝えました。

桃を試食した関市長は「大変おいしいです。鹿角の農産物のブランド化をさらに進めていきます」と述べました。



永年立地企業に 感謝状を贈呈

9月16日に、山口電機工業株式会社秋田工場が、本県本市に立地してから50年にわたり地域の経済や雇用に貢献した企業として表彰され、鎌田鹿角地域振興局長と関市長から、感謝状と記念品が贈られました。

昭和21年に設立した同社は、昭和45年から尾去沢工場での操業を開始し、自動車部品などを製造しています。

感謝状を受け取った佐藤工場長は「今後も地元貢献していきたい」と話していました。



コロナワクチン 集団接種

8月7日から9月26日にかけて、ホテル鹿角で新型コロナウイルスワクチンの集団接種が行われました。

ホテルには事前に予約していた方々が次々と来場し、受付と予診票の確認をしたのち、医師による予診を受けてからワクチンを接種しました。

土日開催したことで、休日を利用してくる方が多く、今回の集団接種では、計8日間で約8千回のワクチン接種が行われ、接種の加速化が図られました。

